



萩原町連区交通協議会

地域にとって必要なバスの導入と利用促進の取組み

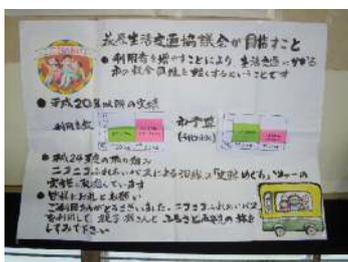


取組・活動の概要

- 平成19年にニコニコふれあいバスが運行開始する際には地域住民の意見を集約し、コースやダイヤ、停留所の位置など協議会で協議・決定しました。この11月で運行開始後10年が経過しましたが、現在まで継続的に年に6回程度の協議会を開催し、地域の要望や改善策、利用促進策などについて協議を行っており、開催回数は81回を数えます。
- 協議会委員自らが地域の企業を訪問し、約15社からバスの運行に対する協賛をいただき、地域住民と企業が一体となってバスを支える活動を続けています。



記念感謝デーの開催



毎年、「記念感謝デー」としてバスのPRイベントを開催しています。地域の皆さんのバス利用に対して謝意を伝えると共に、地域の方々のバスへの意識を高めることで、利用促進を行っています。また、イベントを通じて地域のコミュニティづくりにも貢献し、今や地域には欠かせない大切な場となっています。

バスの利用促進



年1回、委員が全便に乗車し利用者アンケートを行い、バスが地域により良いバスになるよう努めています。また、i-バス1日乗車券を利用し、ニコニコふれあいバスのコース沿線にある史跡を案内する「史跡めぐりツアー」を実施し、バスを身近に感じてもらえるような利用促進を行いました。

取組の結果

利用促進を継続し利用者は年々増え、月平均利用者数は平成19年度には2,332人だったのが、平成28年度には3,983人と、10年間で約1.7倍に増加しました。

月平均利用者数

H19	H20	H21	H22	H23
2,332	2,431	2,616	3,285	3,691
H24	H25	H26	H27	H28
3,807	4,169	4,247	4,279	3,983